

つながるえがお～うれしいきもち😊たのしいきもち～ 人権教育の取組

熊本県立荒尾支援学校

荒尾市では、『一人ひとりの人権を尊重し、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を市民とともに考え、「心の温もり」のあるまち・荒尾をつくる』ため、毎年人権フェスティバルが開催されています。今年度は、本校が発表校として参加しました。「つながるえがお～うれしいきもち・たのしいきもち～」をテーマに発表した本校の取組を紹介します。

小学部一般学級の発表

低学年では、「いいことってどんなこと？」について学習し、「トイレのスリッパをきれいに並べる」「素直に謝る」など、みんなが気持ちよく生活するための実践について発表しました。中学年では、「ありがとう」について学習し、いつもお世話になっている方へ「ありがとうカード」を作って渡したこと、高学年では、「ちくちく言葉」と、「ふわふわ言葉」について学習したことを発表しました。また、「ふわふわ言葉」を使って友だちに書いた手紙も紹介しました。



中学部一般学級の発表

差別や偏見についての学習では、友だちや先生の趣味や特技などを紹介し合い、相手のことを深く知り合ったことを発表しました。公共の場でのマナーについての学習では、通学バスの中での行動を振り返り、友だちや添乗員さん、運転手の方と毎日笑顔で登下校ができる方法について考えたことを発表しました。平和学習では、過去の戦争について正しく学び、命の尊さを学んだことを発表しました。



高等部一般学級の発表

友だちとのかかわりを思い出しながら、伝えたいことをメッセージカードに書いたり、文字シールを貼ったりして、自分の思いを綴った学習について発表しました。友だちへの気持ちをそのままに書いたり、文章にするのは恥ずかしいと感じたりする生徒もいましたが、メッセージを伝え合った後に、「自分のいいところがわかった」「友だちのよさをもっとみつめていきたい」「こころが優しい気持ちになった」などの素直な感想があがったことの紹介もしました。



小・中・高重複障がい学級の発表

小学部重複障がい学級は、「バスごっこ」の歌遊びを通して、自分や友だちのいいところを見つけた学習について発表しました。「おとなりへ～ハイ」の掛け声で、自分の得意なからだの動きを使って、隣の友だちがキップを受け取るまでしっかりと待つ姿が見られ、「お友だちが手を伸ばして渡してくれて嬉しかった」という感想があがったことも紹介しました。中学部・高等部の学習では、「サイコロゲーム」を通して、友だちが好きなこと嫌いなことを知りました。友だちのことを知り、もっと優しい気持ちになれたことを発表しました。



いじめ防止の取組紹介

荒尾支援学校には、いじめ防止に向けた宣言文「ARA・SHIのきずな 3」があります。この3つを目標に、いじめのない学校、楽しい学校を目指していることを紹介しました。

ARA・SHIのきずな☆3

- ☆いじめはしません、ゆるしません
- ☆友達も・自分も大切にします
- ☆ARA・SHIをいじめのない楽しい学校にします



スクールソング「たいせつなひと」紹介

荒尾支援学校のスクールソング「たいせつなひと」を紹介しました。この歌は平成15年に、友だちや家族など身の回りの大切な人を思い浮かべて、本校の高等部生徒と玉名女子高等学校の生徒が合同で作詞をしたもので、今も大切に歌い継がれています。当日は、本校の児童生徒が歌う様子をスクリーンに映し出し、全員で心を込めて歌いました。

発表前後の児童生徒の様子

事前の発表練習では、聞く人に伝わるように丁寧に発表する練習をしました。学校だけでなく、家でも原稿読みの練習を行う児童生徒がいました。発表後の感想では、「たくさんの学校の発表があるといいね。これからも人権フェスティバル続けてほしい」「学校のスクールソング『たいせつなひと』をみんなに紹介できたのでよかった」などがあがりました。

保護者の方からは「荒尾の子ども一人ひとりのメッセージがあり、全員が考える機会となったと思う」という感想を頂き、発表した児童生徒も、見に来て頂いた方にも心に残るフェスティバルとなりました。

荒尾支援学校は、今年で40周年を迎えます。今後も引き続き人権教育に取り組んでいくとともに、地域、社会とのつながりを大切に、一人ひとりの笑顔が輝く学校にしていきます。

